

加治工真市教授 研究業績目録

編著書（単著）

刊行年月日	書名	発行所他
1973（昭和48）年	加治工真市著『沖縄県八重山鳩間島方言』	国立国語研究所話しことば（研究室 pp. 1-163）

編著書（共著）

刊行年月日	編著者・書名	発行所他
1977（昭和52）年 10月 日	沖縄県高等学校教職員組合編（編集委員：池宮正治・加治工真市・喜舎場順・宜保栄治郎・津波古敏子・照喜名繁夫・当間一郎・野原広亀・本永守靖、編集協力者：波照間永吉） 『高校生のための古典副読本 改訂版 沖縄の文学』	（沖縄時事出版 pp. 1-132）
1983（昭和58）年 5月28日	平山輝男・久野マリ子・久野真・平沢洋一・中條修・加治工真市・多和田真一郎・杉村孝夫・大野真男編著 『琉球宮古諸方言の総合的研究』	（桜楓社 pp. 1-1040）
8月25日	『鳩間島誌』	（鳩間島郷友会 pp. 1-169）
1988（昭和63）年 2月28日	平山輝男・大島一郎・久野マリ子・久野真・内間直仁・加治工真市・杉村孝夫・大野真男編著 『南琉球方言の方言基礎語彙』	（桜楓社 pp. 1-982）
1989（平成元）年 3月31日	沖縄慶良間調査委員会編（加治工真市〈代表〉）『慶良間諸島の文献資料集－沖縄慶良間諸島における言語・文化・社会の総合的研究－』	（沖縄慶良間調査委員会 pp. 1-407）
1990（平成2）年 3月20日	加治工真市指導、佐藤亮一監修 『郷土の研究 方言をしらべよう ⑨沖縄地方』	（福武書店 pp. 1-47）
1995（平成7）年 1月23日	法政大学沖縄文化研究所小湾字誌編集委員会（中本正智・野原三義・加治工真市・名嘉真三成・橋尾直和）編 『浦添・小湾方言辞典』	（浦添市小湾字誌編集委員会 pp. 1-327）

- 7月10日 沖縄古語大辞典編纂委員会編（外間守善・内間直仁・大城學・加治工真市・新里幸昭・高橋俊三・玉城政美・野原三義・波照間永吉）『沖縄古語大辞典』（角川書店 pp. 1-851）
- 2002（平成14）年 3月31日 狩俣繁久・津波古敏子・加治工真市・高橋俊三編 文部科学省特定領域研究 環太平洋の「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究『消滅に瀕した琉球語に関する調査研究』（「環太平洋の言語」成果報告書 A4-019 pp. 1-373）
- 2002（平成14）年 11月28日 宮城信勇・加治工真市・波照間永吉・西岡敏編 文部科学省特定領域研究 環太平洋の「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究『石垣方言語彙一覧』（「環太平洋の言語」成果報告書 A4-017 pp. 1-543）

監修

- | 刊行年月日 | 著者名・書名他 | 発行所他 |
|-------------------|-------------------------|---|
| 1992（平成4）年 7月15日 | 稲福盛輝編著、加治工真市監修『医学沖縄語辞典』 | （ロマン書房本店 pp. 1-268） |
| 2003（平成15）年 9月16日 | 宮城信勇著、加治工真市監修『石垣方言辞典』 | （沖縄タイムス社 本文編 pp. 1-1231 文法・索引編 pp. 1-344） |

論文（単著）

- | 年月日 | 論文名 | 収録誌名・発行所・所載頁 |
|-------------------|--------------------------------|--|
| 1961（昭和36）年 6月16日 | 「鳩間方言の音韻体系について」 | （『琉球方言』第3号 琉大方言研究クラブ pp. 3-55） |
| 1968（昭和43）年 3月31日 | 「鳩間島古謡の一つ・新室寿歌『アーパーレー』について」 | （『沖縄文化』通巻26・27号 第6巻3・4号 沖縄文化協会 pp. 5-25） |
| 1970（昭和46）年 3月3日 | 「琉球方言について—古典副読本『沖縄の文学』理解のために—」 | （『ゆうどれ—浦添高等学校職員文集—』浦添高等学校 pp. 30-37） |
| | 〃 「労働歌の本質について」 | （『ゆうどれ—浦添高等学校職員文集—』浦添高等学校 pp. 72-76） |

- 1971(昭和46)年 8月25日 「八重山地方に流布する念仏歌について」 (『沖縄文化』通巻36・37号 第9巻1・2号 沖縄文化協会 pp. 58-78)
- 1972(昭和47)年 4月10日 「八重山歌謡におけるトゥバラーマ節の発生」 (『文学』第40巻第4号 岩波書店 pp. 136-145)
- 1973(昭和48)年 10月30日 「言語－八重山方言について－」 (宮良高弘編『八重山の社会と文化』木耳社 pp. 377-398)
- 1975(昭和50)年 3月31日 「波照間方言の音韻」 (『琉球方言緊急調査報告書－波照間方言』沖縄県教育庁 pp. 1-30)
- 1976(昭和51)年 12月28日 「沖縄県八重山鳩間方言動詞の活用」 (『人文学報』第117号 東京都立大学人文学部 pp. 1-21)
- 1977(昭和52)年 12月20日 「音韻」 (『琉球の方言』宮古大神島 法政大学沖縄文化研究所 pp. 7-42)
- 1978(昭和53)年 10月20日 「八重山方言の親族語彙」 (日本方言学会・柴田武編『日本方言の語彙－親族名称・その他文献目録』三省堂 pp. 275-290)
- 1980(昭和55)年 1月31日 「解題」 (『宮良當壯全集7 採訪南島語彙稿』第一書房 卷末 pp. 401-408)
- 2月29日 「与那国方言の史的研究」 (『黒潮の民族・文化・言語』角川書店 pp. 491-516)
- 1981(昭和56)年 1月28日 「解題」 (『宮良當壯全集8 八重山語彙 乙編』第一書房 卷末 pp. 3-25)
- 1982(昭和57)年 6月30日 「琉球、小浜方言の音韻研究序説」 (論集刊行委員会編『琉球の言語と文化』論集刊行委員会 pp. 81-106)
- 8月1日 「宮良當壯論(序)」 (『国文学 解釈と鑑賞』昭和57年8月号 第47巻9号 至文堂 pp. 171-177)
- 12月20日 「沖縄県竹富町方言」 (平山輝男編『全国方言辞典2』角川書店 pp. 386-396)

- 1983 (昭和58) 年 1月25日 「沖縄県竹富町方言」 (平山輝男編『全国方言辞典1』 角川書店 pp. 297-301)
- 4月 1日 「首里方言入門」 (言語編集部編『言語』 4月号 第12巻第4号 大修館書店 pp. 33-42)
- 12月20日 「八重山鳩間方言の助詞」 (『琉球の方言』 8号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 122-142)
- 1984 (昭和59) 年 5月16日 「八重山方言概説」 (飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一編『講座方言学10 - 沖縄・奄美の方言 -』 国書刊行会 pp. 289-361)
- 1986 (昭和61) 年 3月15日 「鳩間方言の漁業語彙」 (『琉球の方言』 10号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 1-24)
- 1987 (昭和62) 年 8月20日 「鳩間節考」 (『八重山文化論叢 - 喜舎場永珣生誕百年記念論文集 -』 喜舎場永珣生誕百年記念事業期成会 pp. 247-272)
- 11月18日 「八重山方言の比較音韻論序説」 (琉球方言研究クラブ30周年記念会編『琉球方言論叢』 琉球方言論叢刊行委員会 pp. 93-117)
- 1988 (昭和63) 年 11月30日 「鳩間方言の農業関係語彙」 (『琉球の方言』 13号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 160-205)
- 1989 (平成元) 年 11月10日 「八重山のユングトゥ」 (『文学』 第57巻第11号 岩波書店 pp. 193-209)
- 12月18日 「宮古方言音韻論の問題点」 (『沖縄文化 - 沖縄文化協会創設40周年記念誌 -』 沖縄文化協会 pp. 421-439)
- 1990 (平成2) 年 3月20日 「鳩間方言 - 食関係語彙 -」 (『琉球の方言』 14号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 32-89)

- 1991 (平成3)年 3月25日 「鳩間方言の住関係語彙」 (『琉球の方言』15号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 51-106)
- 3月25日 「鳩間方言の住関係語彙」 (『琉球の方言』15号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 51-106)
- 1992 (平成4)年 3月10日 「鳩間方言の祭祀関係語彙 (1)」 (『琉球の方言』16号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 56-104)
- 1993 (平成5)年 1月30日 「沖縄文化論－風土と文化」 (『祭りのディスクーラー－民衆文化と芸術の接点』多賀出版 pp. 19-30)
- 2月24日 「暮らしのなかの言葉－方言」 (『沖縄県風土記』旺文社 pp. 462-467)
- 3月10日 「鳩間方言の祭祀関係語彙 (2)」 (『琉球の方言』17号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 61-87)
- 1994 (平成6)年 3月31日 「国語音韻史における琉球方言の位置」 (『沖縄文化の源流を探る－環太平洋地域の中の沖縄－』「復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会 pp. 265-272)
- 1995 (平成7)年 2月24日 「鳩間方言の人体関係語彙 (I)」 (『琉球の方言』18・19合併号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 215-226)
- 1996 (平成8)年 2月1日 「波照間方言の音韻研究」 (『沖縄文化研究』22号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 137-181)
- 8月30日 「竹富方言音韻の問題点」 (『音声学会会報』212号 日本音声学会 pp. 16-25)
- 10月28日 「久高島方言音韻論序説」 (『日本語研究諸領域の視点下巻』明治書院 pp. 1245-1272)
- 1997 (平成9)年 3月31日 「琉球・竹富島方言の基礎語彙－分野1、天地、気候の部－」 (『琉球の方言』21号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 122-135)

- 8月11日 「琉球方言への誘いー琉球方言の地域性ー」 (『平成9年度 沖縄地区大学放送公開講座 南島文化への誘い』 pp. 85-101)
- 1998 (平成10) 年 2月20日 「沖縄県八重山鳩間方言の文末詞」 (佐々木峻・藤原与一編『日本語文末詞の歴史的研究』三弥井書店 pp. 237-253)
- 3月30日 「久高島方言動詞の活用」 (『芸術文化学叢書 I 沖縄から芸術を考える』沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科 pp. 109-133)
- 3月31日 「琉球方言への誘いー琉球方言の地域性ー」 (再掲載) (沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄国際大学公開講座7 南島文化への誘い』那覇出版社 pp. 203-239)
- 3月31日 「琉球・竹富方言の基礎語彙ー分野2、動物ー」 (『琉球の方言』22号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 136-148)
- 3月31日 「古見方言の基礎語彙〈分野(1) 自然、分野(2) 動物、分野(11) 人間関係〉」 (『沖縄芸術の科学』第10号 沖縄県立芸術大学附属研究所 pp. 265-320)
- 1999 (平成11) 年 3月31日 「竹富方言の基礎語彙ー分野3、植物ー」 (『琉球の方言』23号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 95-107)
- 2000 (平成12) 年 1月 1日 「ネフスキーと宮古方言」 (『国文学 解釈と鑑賞』第65巻1号 至文堂 pp. 121-132)
- 2月29日 「沖縄県八重山竹富方言音韻論」 (法政大学沖縄文化研究所 沖縄八重山調査委員会編『沖縄八重山の研究』相模書房 pp. 285-302)
- 3月31日 「竹富方言の基礎語彙ー分野4、人体ー」 (『琉球の方言』24号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 87-111)
- 10月20日 「宮古方言概説」 (『高宮廣衛先生古希記念論集 琉球・東アジアの人と文化』(下巻) 高宮廣衛先生古希記念論文刊行委員会 pp. 389-412)

- 11月20日 「八重山の親族語彙」 (石垣繁編『宮良當壯記念論集』宮良當壯先生生誕百年記念事業期成会 pp. 259-275)
- 2001 (平成13) 年 3月31日 「竹富方言の基礎語彙一分野5、衣一」 (『琉球の方言』25号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 139-155)
- 3月31日 「古見方言の基礎語彙〈分野(3)植物～分野(4)食)」 (『沖縄芸術の科学』第13号 沖縄県立芸術大学附属研究所 pp. 1-104)
- 3月31日 「哈尼語、摩梭語の基礎語彙」 (平成10・11・12年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)研究成果報告書『沖縄と中国雲南省少数民族の基層文化の比較研究』沖縄県立芸術大学附属研究所 pp. 1-21)
- 2002 (平成14) 年 3月31日 「竹富方言の基礎語彙一分野6(食)、分野7(住居)一」 (『琉球の方言』26号、法政大学沖縄文化研究所 pp. 47-89)
- 3月31日 「与那国方言について」 (文部科学省特定領域研究環太平洋の「消滅の危機に瀕した言語」にかんする緊急調査研究A4-019『消滅に瀕した琉球語に関する調査研究』 pp. 263-307)
- 7月 1日 「八重山・鳩間島方言」 (『国文学 解釈と鑑賞』第67巻7号 至文堂 pp. 59-76)
- 2003 (平成15) 年 3月31日 「竹富方言の基礎語彙一分野8(民俗)、分野9(遊戯)一」 (『琉球の方言』27号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 61-95)
-

論文（共著）

発表年月日	共著者名・論文名	収録誌名・発行所・所載頁
1997（平成9）年 6月19日	大城肇・加治工真市「第七章 鳩間島の経済・社会・文化」	（『鳩間小学校創立百周年記念誌 波濤を越えて』竹富町立鳩間小学校 pp. 462-483）
1998（平成10）年 3月31日	嵩原健二・島村修・加治工真市著「波照間島で記録された鳥類とその方言名について」	（『波照間島総合調査報告書』沖縄県立博物館 pp. 65-86）
2001（平成13）年 3月30日	石垣金星・嵩原健二・花城良廣・加治工真市著「西表島、鳩間島及び新城島における動植物の方言名について」	（『西表島総合調査報告書』沖縄県立博物館 pp. 35-59）

書評

発表年月日	論文名	収録誌名・発行所・所載頁
1966（昭和41）年 12月25日	「『琉球方言親族呼称の研究』を読んで」	（『沖縄文化』通巻22号 第5巻第2号 沖縄文化協会 pp. 26-29）
1976（昭和51）年 12月 4日	「『琉球方言音韻の研究』を読んで」	（『沖縄文化』通巻46号 第13巻1号 沖縄文化協会 pp. 114-119）
1983（昭和58）年 9月28日	「『沖縄今帰仁方言辞典』を紹介す」	（『南島史学』第21・22号 南島史学会 pp. 134-141）
1986（昭和61）年 11月10日	「野原三義著『琉球方言助詞の研究』を読んで」	（『沖縄文化』通巻67号 第23巻1号 沖縄文化協会 pp. 72-76）
1995（平成7）年 2月24日	「『図説琉球語辞典』	（『琉球の方言』18・19合併号 法政大学沖縄文化研究所 p. 63-67）
	” 「『日本語の原景－日本列島の言語学』	（『琉球の方言』18・19合併号 法政大学沖縄文化研究所 pp. 68-71）

エッセー他

発表年月日	論文名	収録誌名・発行所・所載頁
1987 (昭和62) 年 10月25日	『沖縄文化』誌の新しい出発	(『沖縄文化』通巻69号 第24巻1号 沖縄文化協会 p. 119)
1987 (昭和62) 年 11月18日	「心のふるさと」	(『琉球方言論叢』琉球方言論叢刊行委員会 pp. 591-598)
2001 (平成13) 年 3月31日	「序」	(『平成10・11・12年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)研究成果報告書 沖縄と中国雲南省少数民族の基層文化の比較研究』沖縄県立芸術大学附属研究所 pp. i-ii)

シンポジウム

発表年月日	シンポジウム名・パネリスト名	収録誌名・発行所・所載頁
2001 (平成13) 年 9月20日	「環太平洋文化圏の中の沖縄と日本」 (議長：外間守善、基調報告者・各分科会議長：高宮廣衛、加治工真市、上野善道、中西進、ヨーゼフ・クライナー、片山龍峯、山里清、ヒュー・クラーク)	(『復帰25周年記念 第3回「沖縄研究国際シンポジウム」世界につながる沖縄研究—沖縄大会・シドニー大会—』復帰25周年記念第3回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会・沖縄文化協会 pp. 795-825)

座談会

発表年月日	座談会名・出席者名	収録誌名・発行所・所載頁
1982 (昭和57) 年 6月30日	「方言研究のあゆみ—歴史と展望」(上村幸雄、比嘉政夫、生塩睦子、屋比久浩、加治工真市、高橋俊三、津波古敏子、中本正智、野原三義、名嘉順一、仲程昌徳)	(『琉球の言語と文化』論集刊行委員会)

- 1995 (平成7) 年 2月24日 「追悼座談会—中本正智さんを偲ぶ」 (『琉球の方言』18・19合併号 法政大学沖縄文化研究所 pp.104-131)
 (司会：仲程昌徳、出席：名嘉順一、糸数兼治、野原三義、野原峯子、加治工真市、名嘉真三成、比嘉実)

編集

刊行年月日	書名	出版社・総頁数
1980 (昭和55) 年 1月31日	宮良當壯著 『宮良當壯全集7 探訪南島語彙稿』	(第一書房 pp.1-408)
12月29日	宮良當壯著 『宮良當壯全集8 八重山語彙 甲編』	(第一書房 pp.1-642)
1981 (昭和56) 年 1月28日	宮良當壯著 『宮良當壯全集8 八重山語彙 乙編』	(第一書房 pp.1-357)
1982 (昭和57) 年 4月10日	宮良當壯著 『宮良當壯全集1 日本方言語彙 (1)』	(第一書房 pp.1-705)
1983 (昭和58) 年 2月28日	仲宗根政善著 『沖縄今帰仁方言辞典』	(角川書店 pp.1-885)
1984 (昭和59) 年 1月31日	宮良當壯著 『宮良當壯全集1 日本方言語彙 (2)』	(第一書房 pp.1-636)
1999 (平成11) 年 6月28日	宮良當壯著 『宮良當壯全集1 日本方言語彙 (3)』	(第一書房 pp.1-698)
2001 (平成13) 年 10月28日	宮良當壯著 『宮良當壯全集1 日本方言語彙 (4)』	(第一書房 pp.1-394)
2003 (平成15) 年 9月28日	宮良當壯著 『宮良當壯全集1 日本方言語彙 (5) 索引 (A～J)』	(第一書房 pp.1-669)
